

兵庫ヤクルトオリジナル調査「ヤクルトレディ 100人に聞きました！」

「中学校の部活動のリアル！～保護者の本音は？～」

調査方法：社内アンケート

調査機関：自社調査

調査人数：143名

対象者：ヤクルトレディ

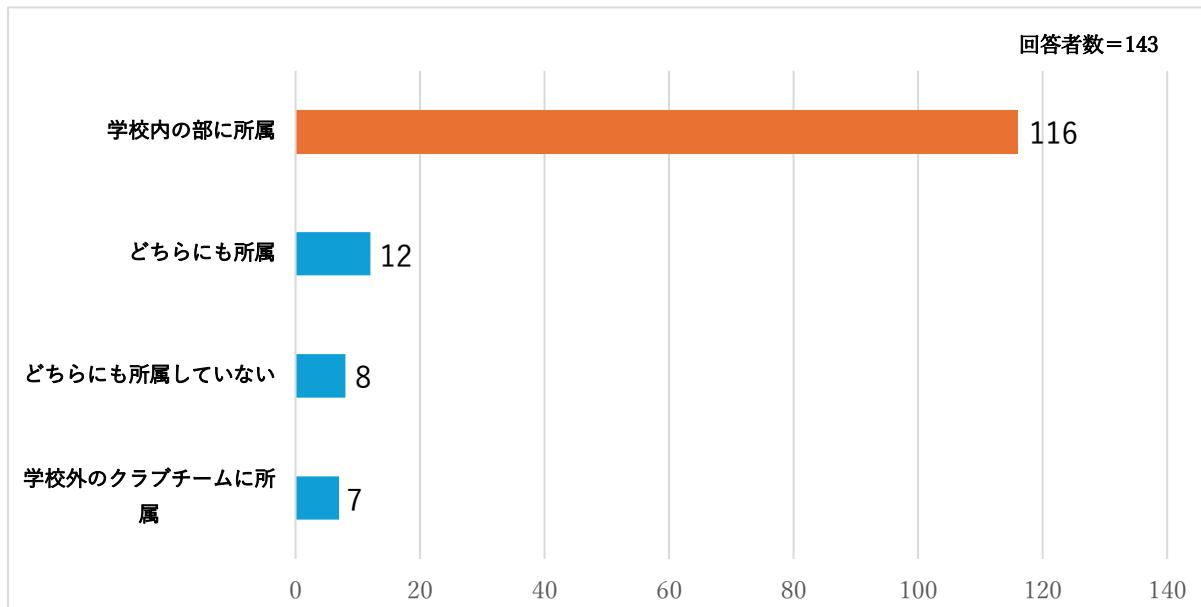
調査時期：2025年1月27日～2月7日

【調査理由】

神戸市では、中学校の部活動を終了し、生徒が地域の方々とともに活動するクラブ活動＝「KOBE◆KATSU(コベカツ)」を2026年9月より開始する予定です。

こうした背景から、ヤクルトレディが中学校の部活動に対してどのようなイメージを持っているのか、中学生のお子さまを育てている（育てていた）ヤクルトレディ143名にアンケート調査を実施しました。

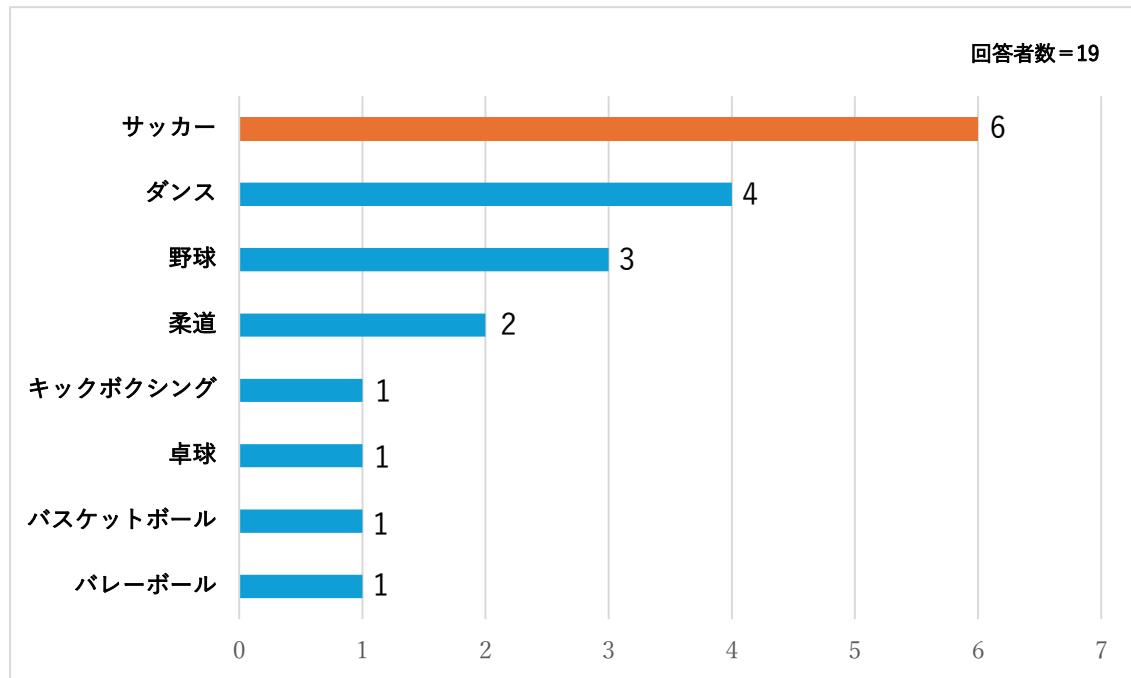
1. お子さまは中学校の部活動に所属していた？



「学校内の部に所属」、「どちらにも所属していた」を含めると約9割となり、ほとんどのお子さまが中学生の時に学校の部活動に所属していたことが分かりました。

2. 学校外での所属クラブチームは？所属理由は？

※以下の設問には「学校外のクラブチームに所属」、「どちらにも所属」の方のみが回答



学校外での所属クラブチーム Best 3

- 1位 サッカー 6票
- 2位 ダンス 4票
- 3位 野球 3票

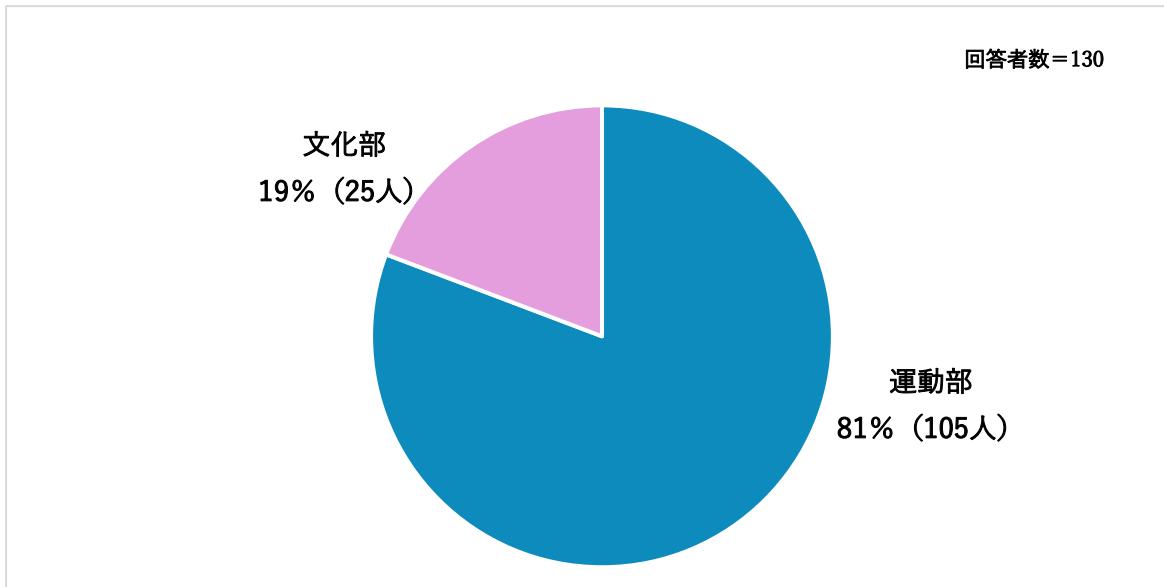
所属理由 Best 3

- 1位 中学校の部活になかったから
- 2位 小学校の時から所属していたから
- 3位 高いレベルで上達するため

学校外でのクラブチームの所属理由は「中学校の部活になかったから」が最も多く回答が集まりました。

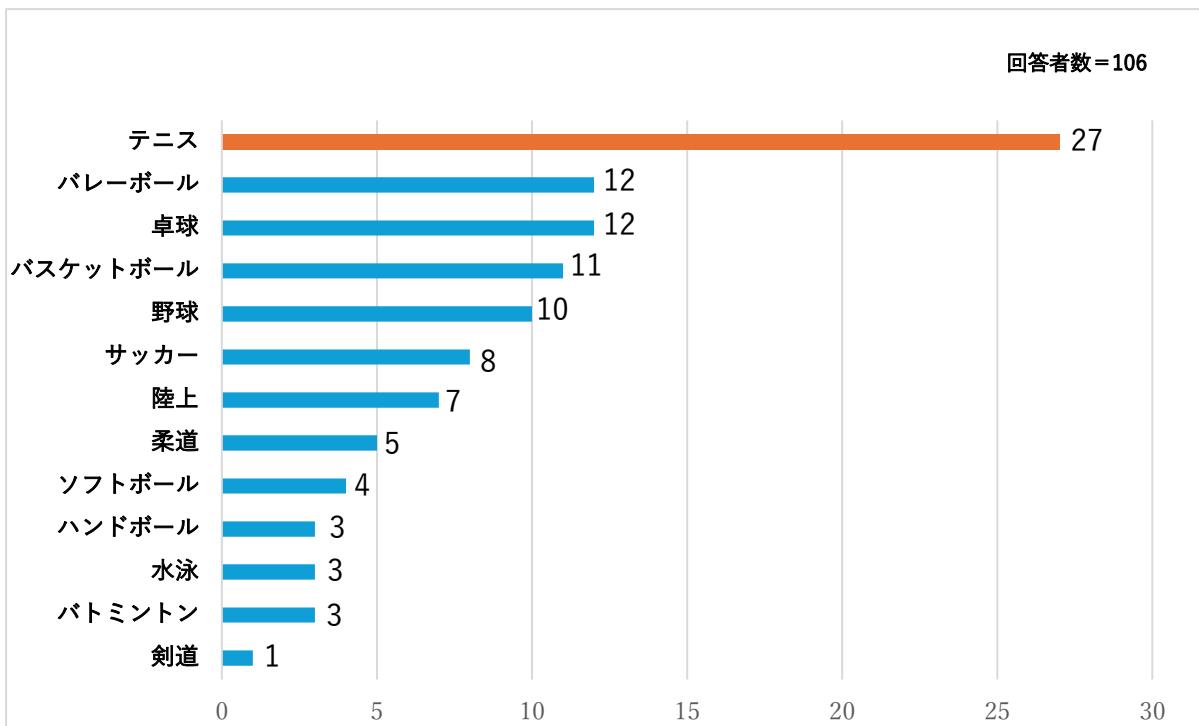
3. 運動部、文化部どちらに所属？所属部活は？

※設問3から6は「学校内の部に所属」、「どちらにも所属」の方のみが回答



約8割が運動部、約2割が文化部という結果になりました。

●所属運動部

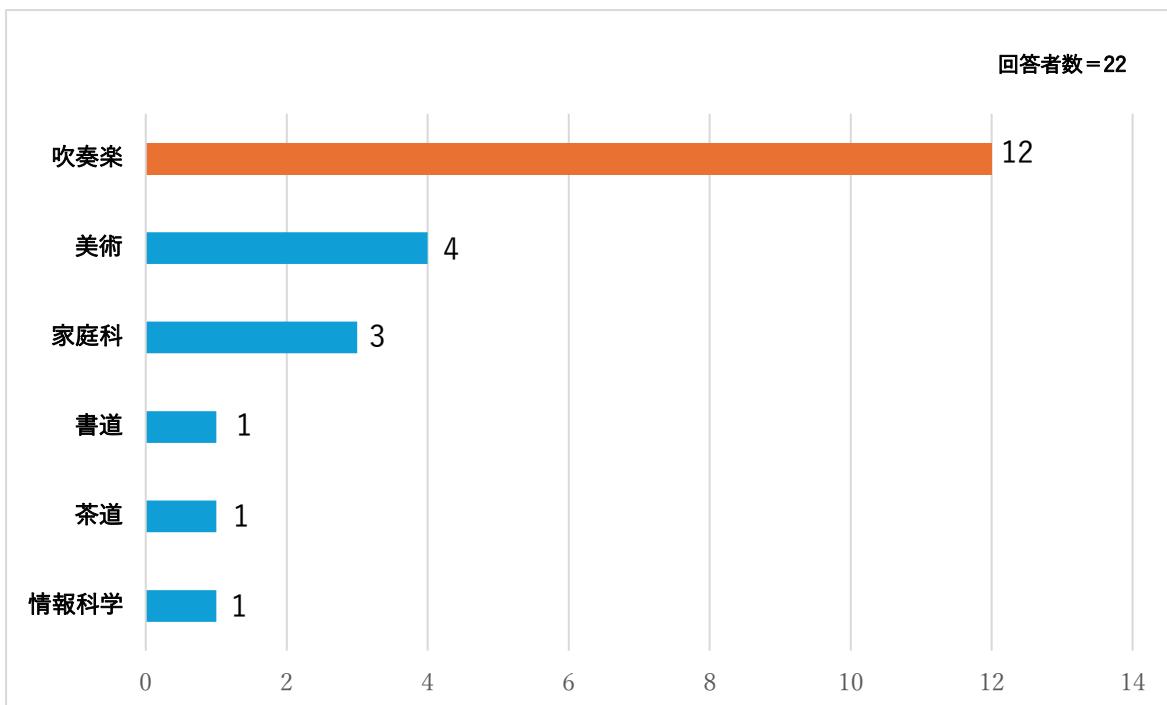


Best 3

1位 テニス	27票
2位 バレー・ボール	12票
卓球	12票
3位 バスケットボール	11票

最も多かったのがテニス。続いて、バレー・ボール・卓球が同率2位。僅差でバスケットボールが3位という結果になりました。

●所属文化部

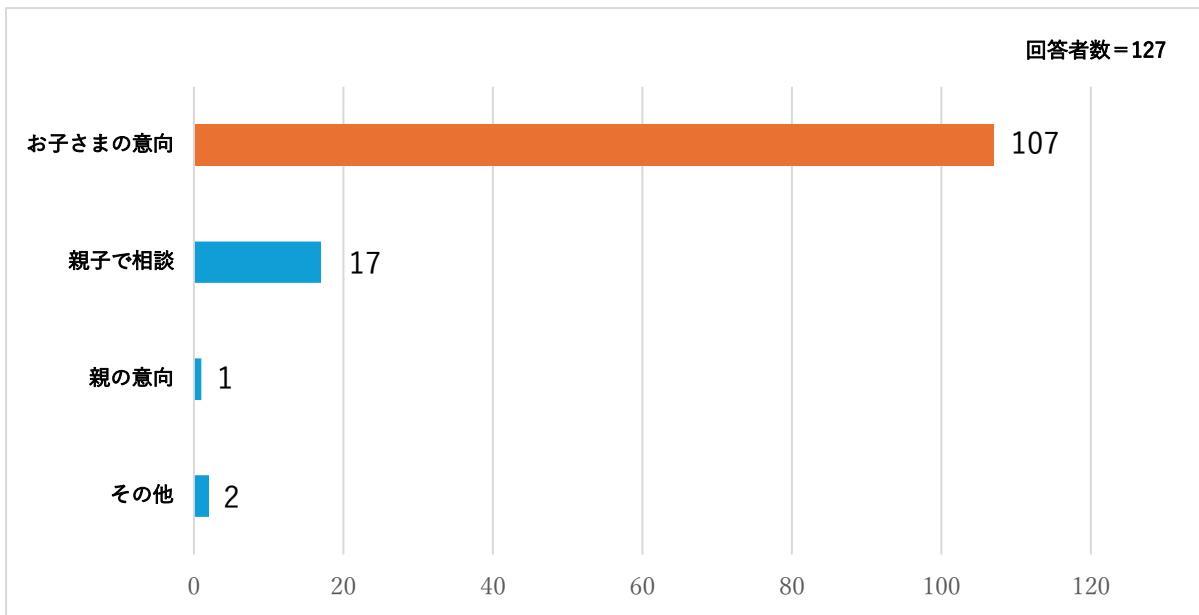


Best 3

1位 吹奏楽	12 票
2位 美術	4 票
3位 家庭科	3 票

約5割が、吹奏楽と回答しました。続いて美術が2位、家庭科が3位という結果になりました。

4. 部活動を決めた経緯は？

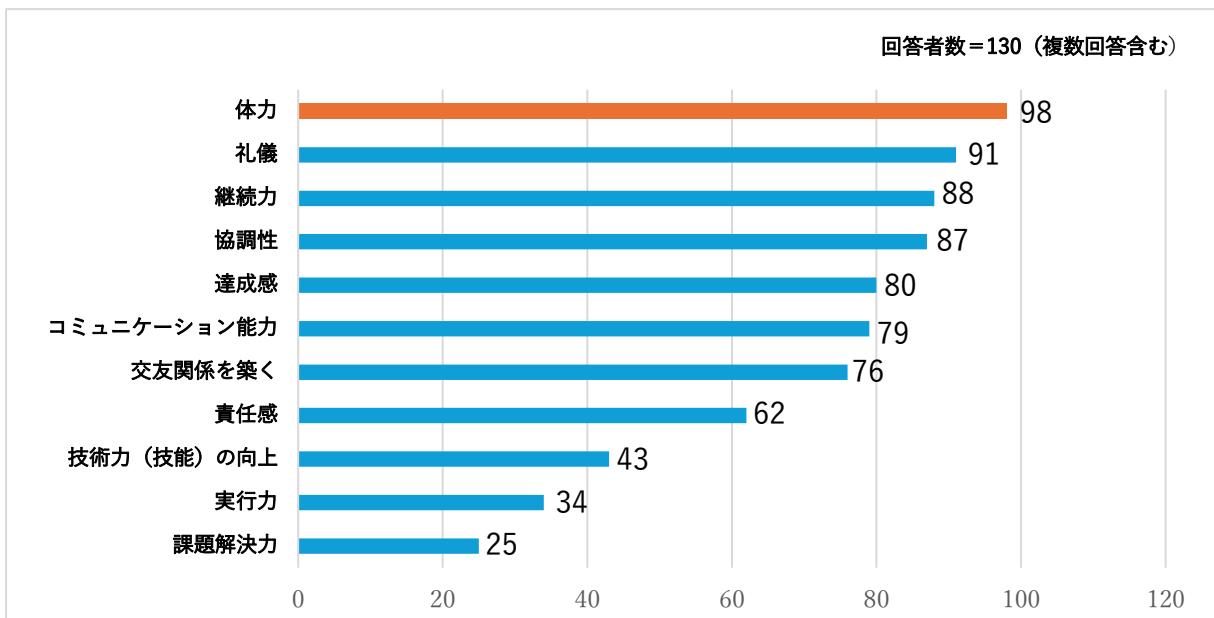


【その他の回答】

- ・子どもにおすすめしました。本人決定
- ・小学校から野球をしていたため

「お子さまの意向」、「親子で相談」を含めると、約9割のお子さまが自分で部活動を決めており、子どもの意見を尊重するケースが多いという結果になりました。

5. 部活動をとおして特に子さんに身に付けてほしいことは？



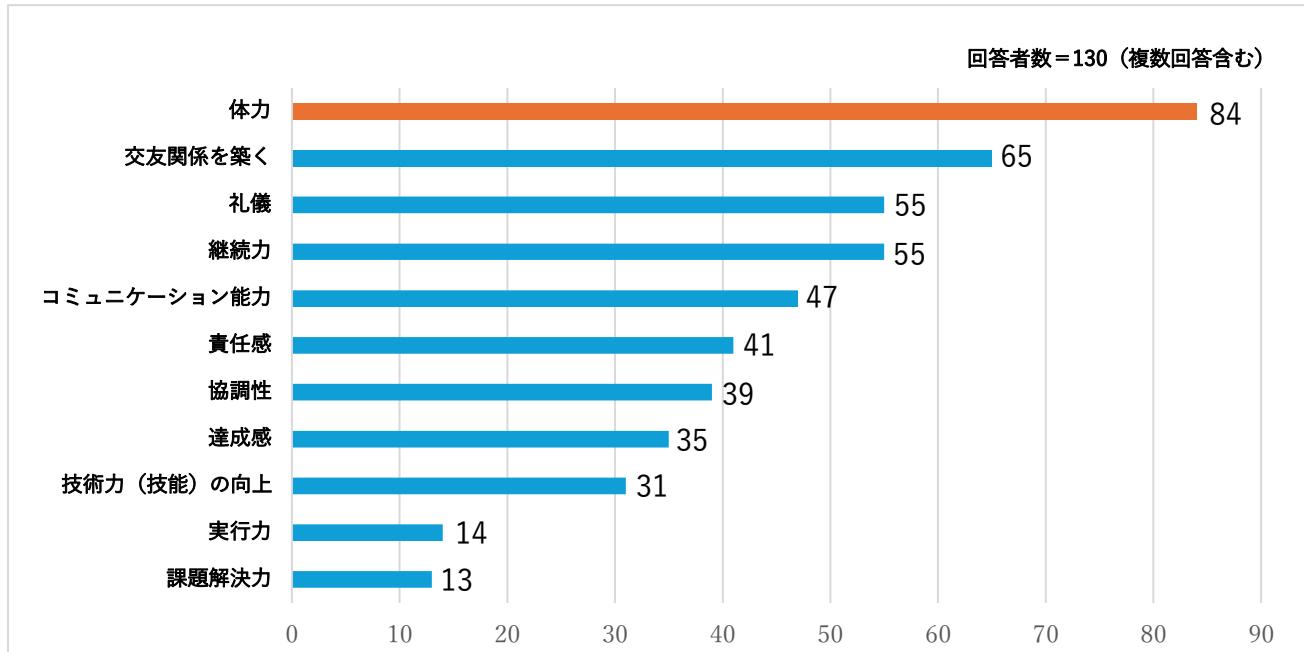
身に付けてほしいこと Best 5

1位 体力	98票
2位 礼儀	91票
3位 継続力	88票
4位 協調性	87票
5位 達成感	80票

部活動をとおして身に付けてほしいこと、1位「体力」、2位「礼儀」、3位「継続力」という結果になりました。

6. 部活動をとおしてお子さまが実際に身に付いたと感じたことは？

また、部活動に入って特に良かったこと・苦労したことは？



身についたこと Best 5

1位 体力	84票
2位 交友関係を築く	65票
3位 礼儀	55票
継続力	55票
4位 コミュニケーション能力	47票
5位 責任感	41票

部活動をとおしてお子さまが実際に身に付いたと感じること 1位は、設問5の身に付けてほしいことと同様、「体力」が1位となりました。

また、身に付けてほしいことでは7位だった「交友関係を築く」が、実際に身に付いたことでは2位という結果になりました。

●部活動に入って良かったこと

- ・経験者ばかりで上位をねらうことは難しかったけど、最後まで諦めずチャレンジできしたこと。
- ・時間を守るようになったこと、良いこと悪いことにどう向き合うかを考えるようになった。
- ・大会に出場して走る姿を応援できて、親として嬉しかったです。
- ・チームプレーなので責任感を持って仲間のことを思いながらできしたこと。
- ・部長になったので、責任感、協調性など学べた。大変でも続けることの大切さ、達成感を味わえたと思う。
- ・20歳を超えた今でも仲良くする仲間がいる。壁にぶち当たったときにチームメイトに支えられた。

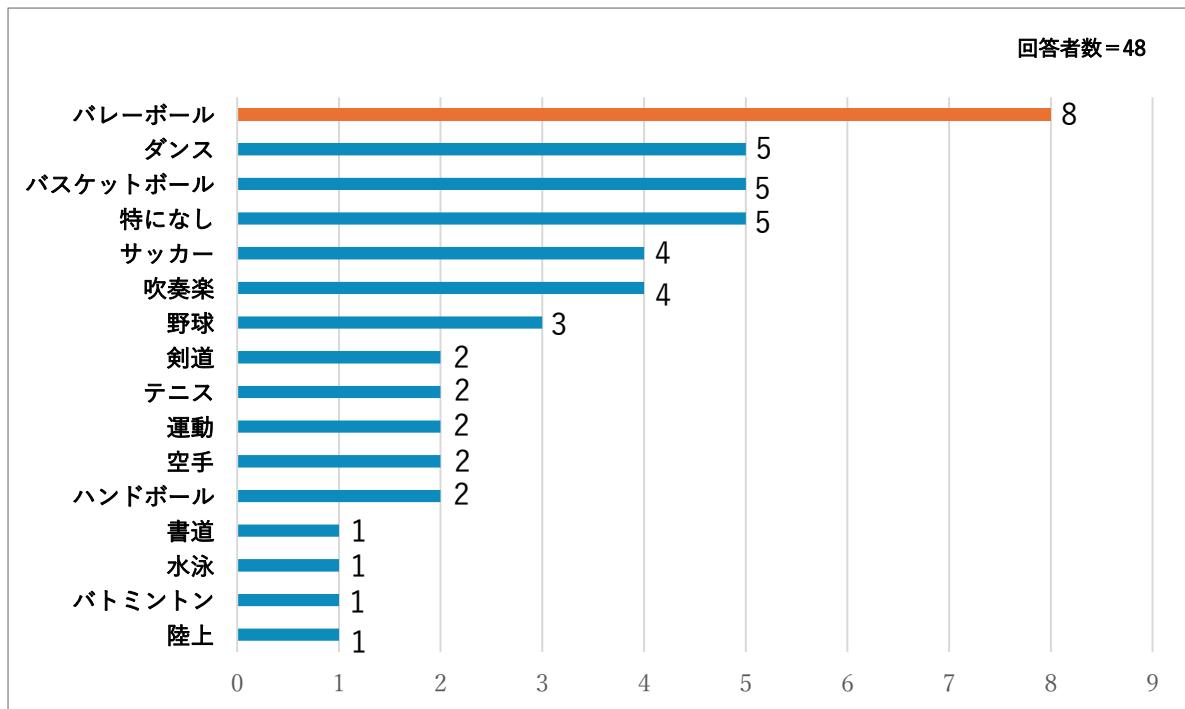
“身に付いたこと”1位は「体力」という結果となりましたが、自由記入欄では、「交友関係」についての記載が多くみられました。

●部活動に入って苦労したこと

- ・塾との両立。
- ・遠征にかかる費用と時間。
- ・休みの日に試合のため遠くに送迎しないといけないのは大変だった。
- ・熱中症アラームなどでお休みが多く、思うほど体力ついていない。
- ・全く知らなかった分野で親としてもサポートできなかった。先生におまかせ。
- ・休みたいと言う娘をなだめて送り出すのが大変でした。
- ・親が口出しできない女子ならではのいざこざ等。
- ・子ども2人ともが遠征があるので送迎が苦労した。

「送迎」や「遠征費用」に苦労したという回答が多くみられました。また酷暑の影響か、「熱中症」に関する回答も一定数ありました。

番外編：実はお子さまにさせたかった部活動は？



実は子どもにさせたかった部活では、1位が「バレーボール」、2位が同率で「ダンス」、「バスケットボール」、「特になし」。3位が「サッカー」、「吹奏楽」となりました。理由としては「自分がしていたから」という意見が多くを占めました。他にも「体力をつけてほしいから」、「夫がしていたので教えることができると思ったから」という回答もありました。

7. まとめ

今回の調査で、ヤクルトレディのお子さまが中学生の時、約9割が学校内の部活動に所属していましたことが分かりました。やはり、学校生活において部活動は欠かせない存在であり、体力・気力の充実や人間関係の構築など、その子の人格形成に大きな役割を果たしていることを改めて実感しました。

現在、神戸市では中学校の部活動を学校主体のものから、地域の方々とともに活動するクラブ活動「KOBE◆KATSU(コベカツ)」へ移行する取り組みが進められています。部活動が地域に移行することで、学校外の人と関わる機会が増えたり、「入りたい部活が学校になかったため参加できなかった」という問題が解消され、より自由に自分のやりたいことを選択できるようになると考えられます。さらに、地域の方々との交流が生まれることで、中学生の交友関係が広がるだけでなく、地域の方々にとっても中学生との関わりを通じて新たなつながりが生まれ、それぞれの活躍の場が広がることが期待されます。

同じ目標に向かって協力しながら取り組む経験は、人として成長することできる貴重な機会です。学校内・学校外に関わらず、こうした機会が提供され、より充実した活動の場になることを願っています。